

NINGYO CO





7/20(±) 9/8(B)

休館日:月曜日 ※8月12日(月·休)は開館

開館時間:午前9時~午後5時 ※入館は閉館時刻の30分前まで

観覧料:一般300円(200円)

高校生·大学生·65歳以上150円(100円)

小学生·中学生100円(50円)

※()内は20名以上の<mark>団体料金。</mark>

※障害者手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は半額になります。

主催:さいたま市岩槻人形博物館

◎ 「ゆかた de 盆美&に<mark>んぱく」:</mark>

ゆかた(着物可)で岩槻人形博物館に来館すると、観覧料無料。

開催期間:2024年7月15日(月·祝)~9月<mark>8日(日)</mark>

◎「にんぱく」は、さいたま市岩槻人形博物館<mark>の愛称です。</mark>



御所人形 裸童 江戸時代 さいたま市岩槻人形博物館蔵



岩槻人形博物館

〒 339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町 6-1-1 Tel. 048-749-0222 Fax. 048-749-0225 https://ningyo-muse.jp/



にんぱくの主な所蔵品である人形は、木や和紙、胡粉、染織品などの様々な素材からなるデリケートな資料です。そのため、人形が置かれた環境や経年による劣化からは、どうしてもまぬがれることはできません。これらの人形を末永く後世に伝えていくためには、修復は必要不可欠です。

当館では、現状維持を基本とし、オリジナルの情報をできるだけ変えないという文化財修復の理念のもと、平成21年(2009)度から継続的に修復を行ってきました。令和2年(2020)の開館時には博物館内に修復室を設け、日頃から修復技術者と共に人形修復を行うという、全国的にも珍しい当館の特徴的な事業の一つとして今日まで続いています。

本展では、劣化の各症状・素材別の処置から、修復が困難な人形 衣装の復元事例まで、これまで当館で行ってきた人形修復事業につ いて紹介します。文化財としての人形修復はまだ始まったばかりです。 にんぱくがこの15年間、試行錯誤をしながら培ってきた人形修復の 成果と、その未来について考えます。

○ 胡粉層の割損・斑点状の汚れ等の修復





○劣化した繊維の修復





○修復が困難な人形衣装の復元

◆関連イベント

●講演会「博物館コレクションの保存修復」

講師:野中昭美氏(東京国立博物館保存科学課保存修復室主任研究員) 日時:8月31日(土) 午後2時~3時30分 会場:当館会議室 参加費:無料 定員:30名 ※応募者多数の場合は抽選 締切:8月6日(火)

②トークイベント「文化財修復技術者として生きる」

登壇者:新井榛名氏(当館修復技術者)×平井美江氏(公益財団法人 徳川記念財団非常勤学芸員)

日時:8月3日(土) 午後2時~3時30分 会場:当館会議室 参加費:無料 定員:30名 ※応募者多数の場合は抽選 締切:7月9日(火)

【申込方法】

*往復はがき

①応募イベント名、②参加者氏名(ふりがな)、③郵便番号・住所、 ④電話番号を明記のうえ、当館までお送りください。

※小・中学生の場合は、⑤学年、⑥保護者氏名(ふりがな)もご記入ください。締切当日の 消印有効。

*インターネット

「さいたま市生涯学習情報システム」よりご応募ください。 ※受付は締切当日の午後11時59分まで。

❸ 学芸員と修復技術者による展示解説

日時:7月27日(土)、8月25日(日)、9月1日(日)

いずれも午後2時~(40分程度)

◆イベント information

~夏休みワークショップ~

※申込不要、要観覧券。当日展示室前にお集まりください。

※3名の当館修復技術者が1日ずつ担当します。詳細は当館ホームページをご覧ください。

「プラバンとレジンで作る"にんぱくオリジナル"キーホルダー」

~2時30分 講師:当館学芸員ほか 会場:当館会議室

日時:8月4日(日)①午前10時30分~11時30分、②午後1時30分

参加費:200円 対象: 小学生 定員: 各回16名 ※応募者多数の場合は抽選締切: 7月9日(火) ※申込方法は、関連イベントの[申込方法]をご覧ください。

次回展覧会のど案内

有職雛(男雛)のオリジナル衣装 半尻

特別企画展「高橋まゆみ作品展(仮)」 会期:9月21日(土)~12月8日(日)

有職雛 江戸時代 (男雛は復元した衣装を着用)

ふるさとの空気や情景をまとった、ノスタルジックな人形の世界を創り上げる 人形作家・高橋まゆみ氏。長野県飯山市にある高橋まゆみ人形館の協力の もと、あたたかさとやさしさに包まれた、高橋氏の人形作品を紹介します。

「祈り」平成13年(2001) 高橋まゆみ人形館蔵 写真撮影:嶺村裕(日本写真家協会会員



※すべて、さいたま市岩槻人形博物館蔵

[交通案内]

- ・電車をご利用の場合:東武アーバンパークライン(野田線)「岩槻駅」から徒歩約10分 ※大宮駅から岩槻駅までの所要時間は約12分です。
- 車をご利用の場合:東北自動車道「岩槻IC」出口から約5.5km、車で約12分
 ※駐車場は、普通自動車用28台、車いす用2台、乗降スペースは、大型バス用2台分があります。なお、にぎわい交流館いわつきとの共用です。





インスタグラムで情報発信してます!

◆常設展示情報

展示室1「埼玉の人形作り」と展示室2「コレクション展示 日本の人 形」があります。ウェルカムケースには西澤笛畝旧蔵の名品、八人雅 楽のうち3体を展示します。企画展とあわせてお楽しみください。





〒339-0057 埼玉県さいたま市岩槻区本町6-1-1 Tel.048-749-0222 Fax.048-749-0225 https://ningyo-muse.jp/